

潮の香りを  
感じよう

# 港めぐりコース

## コンセプトポイント



### 1 別府港

播磨灘にある港で、東播磨港とも呼ばれている。加古川と、その支流である別府川の河口に作られている。昔は遠浅の海が広がっていたが、工業の発展とともに、工場から必要な資材を船で受け取ったり、船で運びだすのに便利のように埋め立てられた。

**チェックポイント** 船の往来だけでなく、休みの日には港でくつろぐ人や、釣りを楽しむ人も多い港。



### 2 阿閉漁港

江戸時代の頃から漁港として栄えている、歴史ある港。731年の『住吉大社神代記』（すみよしたいしやじんだいき）にも「賀胡郡阿閉津浜一処（かこぐんあえつはまいつしよ）」として登場しており、漁港だけでなく海上交通の要所でもあったと思われる。現在は隣の古宮漁港の方が船も多く、漁業共同組合も古宮と合併されている。沖に出ればクロダイやタコなども釣れる。

**チェックポイント** 播磨町中央部に流れる「喜瀬川」が流れ注ぐ漁港である。



### 3 古宮漁港

船の数も多く、休日には防波堤で釣りを楽しんでいる人もいる。また、沖釣りをする人を乗せる渡船もあり、近くには渡船業を営む家も見られる。

**チェックポイント** 夏には真ダコを天日干して乾燥させる「干しダコ」作りが行われている。



海に面している加古川市ですが、意外と港のことは知られていません。  
播磨灘の港は、古くは漁業の中心地として  
また、近代には工業の発展に大きく関わってきました。  
潮の香りを感じながら穏やかな港の水面を訪ねてみませんか？

**【凡例】**

- モデルコース (約9.4km)
- 1 ~ 3 コンセプトポイント
- A ~ F よりみちポイント